

2021 食育の取り組み

ちゃいれっく新作保育園では、全クラスが発達や成長に合わせて、工夫しながら食育活動をしています。

お米を育ててみよう！

「お米ってどうやってできるの？」という子どもの声をキャッチして、子どもとお米を育てる事にしました。いつも保育園にお米を届けてくれるお米屋さんにご相談したところ、ご厚意で稲の苗を分けていただける事になりました。6月年長児に一人ひとりバケツを用意して苗を植えました。



毎日毎日水をあげて育てていくと、大きく育ち、いつの間にか、子どもたちの身長よりも大きくなっていました。稲穂がつき、たくさんのお米ができました。

そこから、水を抜き、陽の光にあたらぬように、1週間寝かせ、そしてようやく子どもたちとハサミを持って収穫しました。

その後は稲穂をつるして、乾燥したら、脱穀。脱穀も子どもたちと一緒にやる事で、お米って一粒一粒食べるのに時間がかかることからお米を大切に作る気持ちなどが芽生えました。

脱穀した日のおやつに新米おにぎりとして提供すると、「おいしいおいしい」とたくさんほおぼる子どもたちの姿がありました。

さらに、子どもたちと一緒に稲の苗をくださったお米屋さんにお礼に行きました。稲を使ってお正月飾りのしめ縄を子どもたちと作りました。



食育を通して、食事のありがたみ、感謝の気持ちはもちろん、人とのつながりがあることも同時に学ぶ事ができました。様々な人が関わって、給食の提供ができていますと感じます。